

大気について考える



大気がよごれていると、
どのような影響が出るのかな？

大気汚染について

大気とは、地球の表面をおおっている空気のことです。酸素や窒素を多く含んでいます。この大気がよごれてしまうことを大気汚染といいます。

大気汚染は、自動車や工場などから排出される汚染物質が主な原因ですが、近年は大陸から流れてくる汚染物質も心配されています。その中でも

特に、光化学オキシダントやPM2.5、黄砂などが問題になっています。大気汚染物質の濃度が高くなると、目やのどが痛くなるなど人の健康を害したり、生活環境や自然環境に悪影響を及ぼしたりします。

光化学オキシダントについて



光化学オキシダントは、自動車や工場などから排出されるガスや、ガソリンや溶剤などに含まれる汚染物質が、太陽の光を受けて、反応することで発生します。



日差しの強い
春～夏の昼間が、
光化学オキシダント濃度が
高くなりやすい時期だよ。

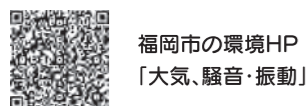
こんな日が要注意

- 日差しが強い日
- 風が弱い日
- 気温が高い日

わたしたちにできること 光化学オキシダント注意報が発令されたら できているものをチェックしよう

- 屋外での激しい運動はさげよう
- できるだけ外出は控えよう

- 目がチカチカしたら、こすらずきれいな水で洗い流そう
- のどが不快に感じたら、うがいをしよう



福岡市の環境HP
「大気、騒音・振動」



気象庁HP
「きつずコーナー「e-気象台」へようこそ！」

【ねらい】大きな工場・事業場などが少ない福岡市では、わたしたちの暮らしに身近な自動車などが大気汚染物質の主な排出源となっています。大気汚染物質から健康を守るための行動の目安を知るとともに、できるだけ公共の交通機関を使うなど、一人ひとりの普段からの心がけが大気汚染物質を減らすことにもつながるということを考えられるようにします。

PM2.5 について

PM2.5ってどんなもの？

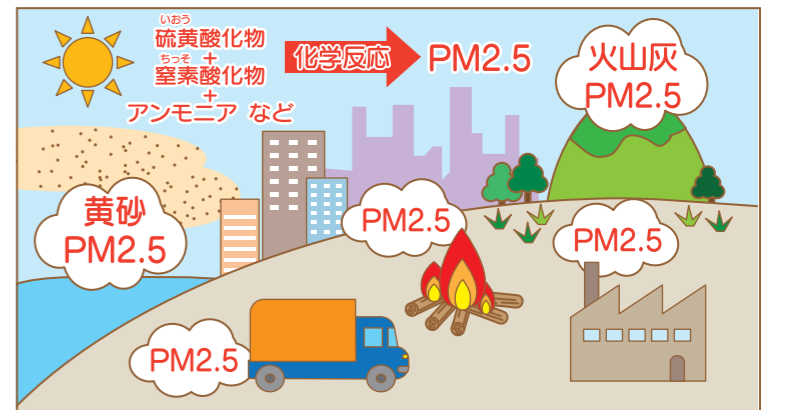
PM2.5とは、大きさが **2.5 μm** (1 μm=0.001mm) 以下の、**空気中の微小な粒子状の汚染物質**のことです。

PM2.5はとても小さいので肺の奥まで入りやすく、ぜんそくや肺がんなどの呼吸器系の病気を引き起こすといわれています。



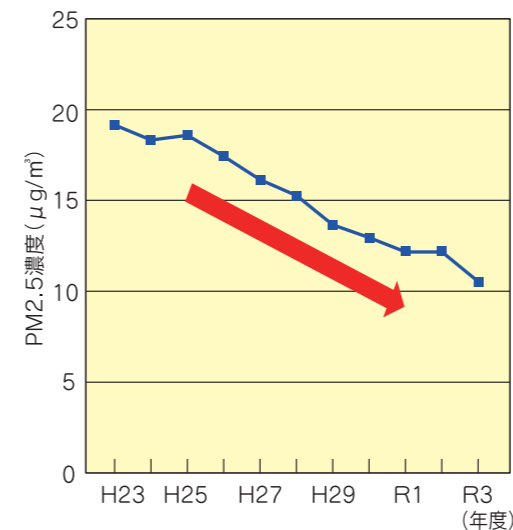
PM2.5の発生源は？

- 自然から…黄砂や火山灰の一部(粒径の小さなもの)などはPM2.5となります。
- 人間の活動から…排気ガスや、ものを燃やすときなどに発生します。
- 空気中の化学物質から…化学物質が太陽の光を受けて、反応することで発生します。



PM2.5濃度の推移

福岡市内のPM2.5濃度は、工場等のばい煙発生施設の規制や、自動車排出ガス規制、中国における規制の強化などによって、減少傾向にあります。



PM2.5濃度は、
だんだん減っているんだね

福岡市の取組み

福岡市では、さまざまな汚染物質を測定し、大気汚染の状況を監視しています。これらの情報を市ホームページで公表しています。

最新の大気の測定結果については、「福岡市の大気環境」から確認できます。



測定局内の機器



測定局



福岡市環境局HP
「福岡市の大気環境」

【解説】福岡市内のPM2.5濃度推移の数値は、有効測定局(年間有効測定日数が250日以上)の年平均です。